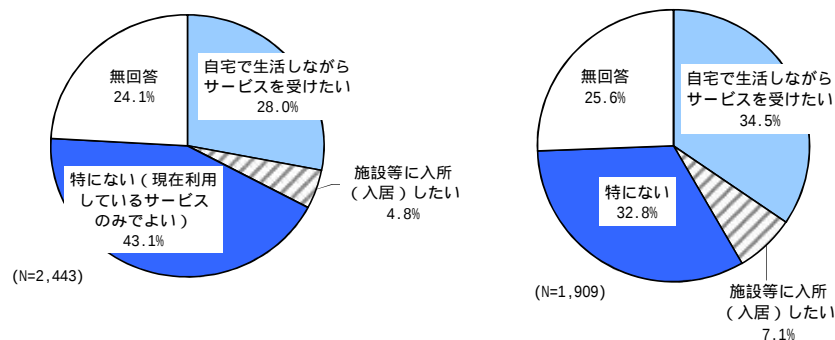


(3) 介護保険サービス利用者・未利用者調査

1年以内に利用したい介護保険サービス

1年以内に利用したい介護保険サービスについては、サービス利用者、サービス未利用者とも「施設に入所（入居）したい」よりも「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の方が高くなっています。

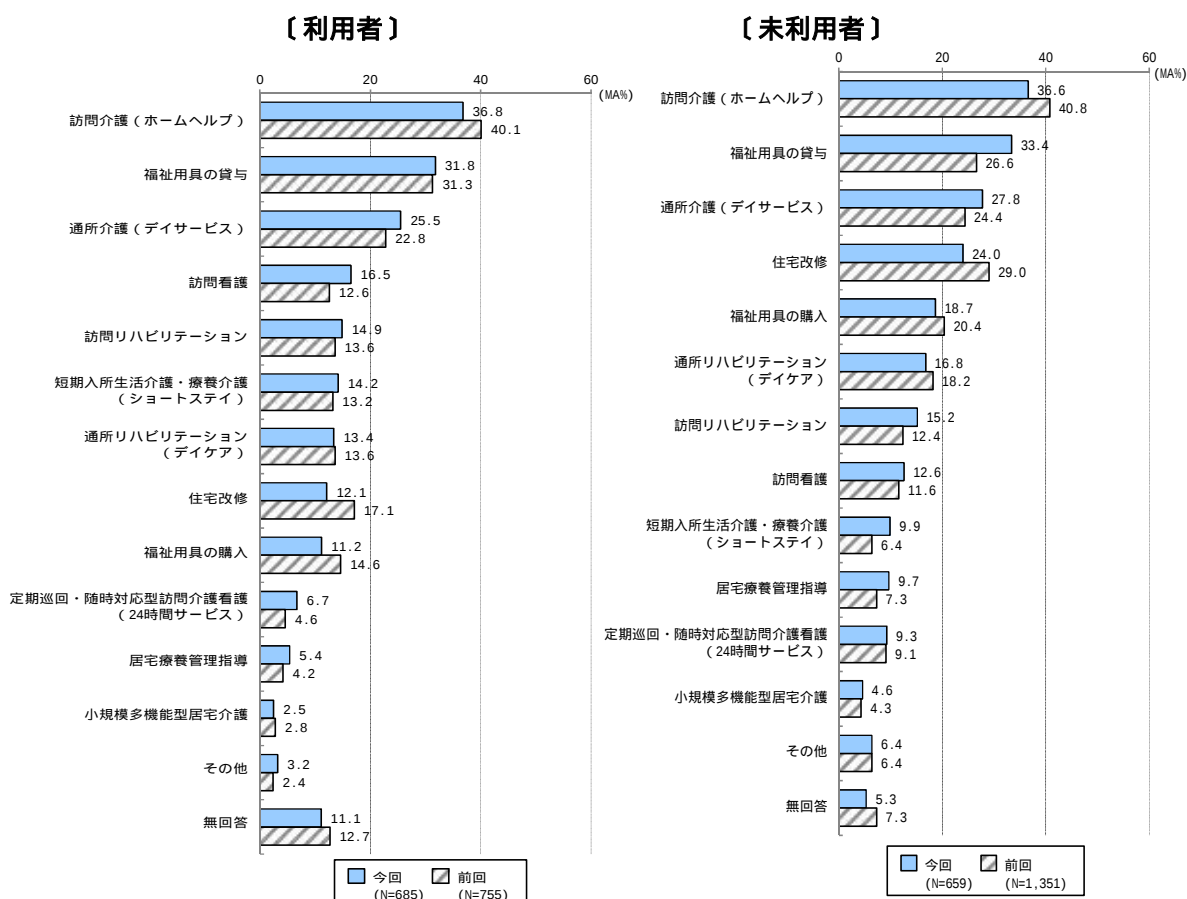
図表4-3-1 利用中のサービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス
〔利用者〕 〔未利用者〕



1年以内に利用したい「在宅」の介護保険サービス

1年以内に利用したい在宅の介護保険サービスについては、サービス利用者・未利用者ともに「訪問介護（ホームヘルプ）」、「福祉用具の貸与」、「通所介護」の順に高く、次いで利用者では「訪問看護」、未利用者では「住宅改修」などとなっています。

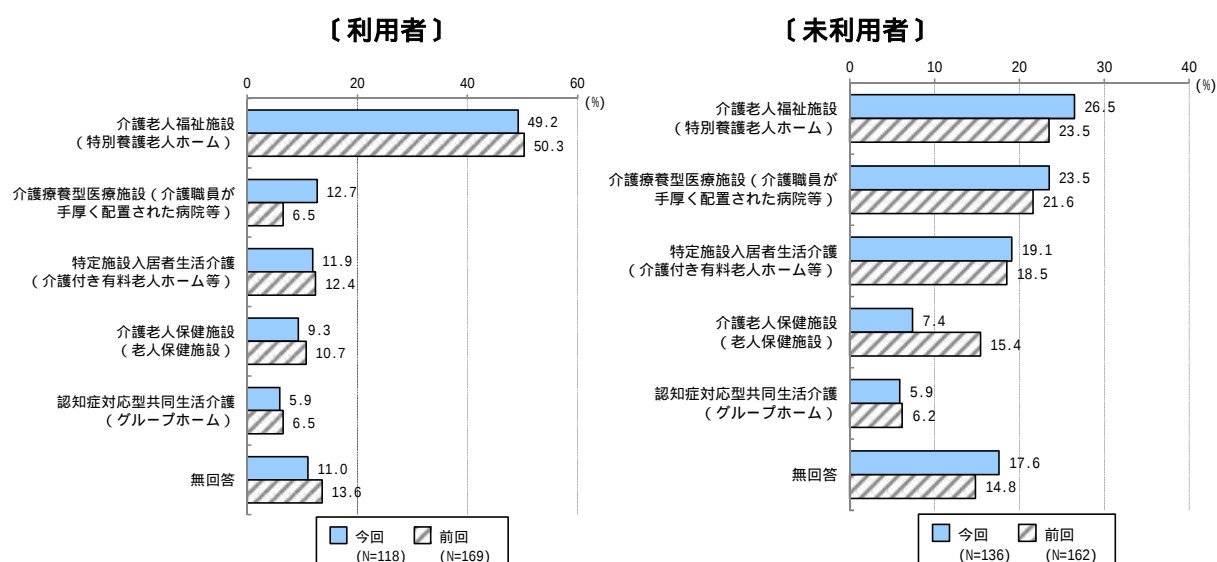
図表4-3-2 1年以内に利用したい在宅の介護保険サービス



1年以内に利用したい「施設」の介護保険サービス

1年以内に利用したい施設の介護保険サービスについては、サービス利用者、サービス未利用者とも「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も高く、次いで「介護療養型医療施設（介護職員が手厚く配置された病院等）」、「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）」が高くなっています。

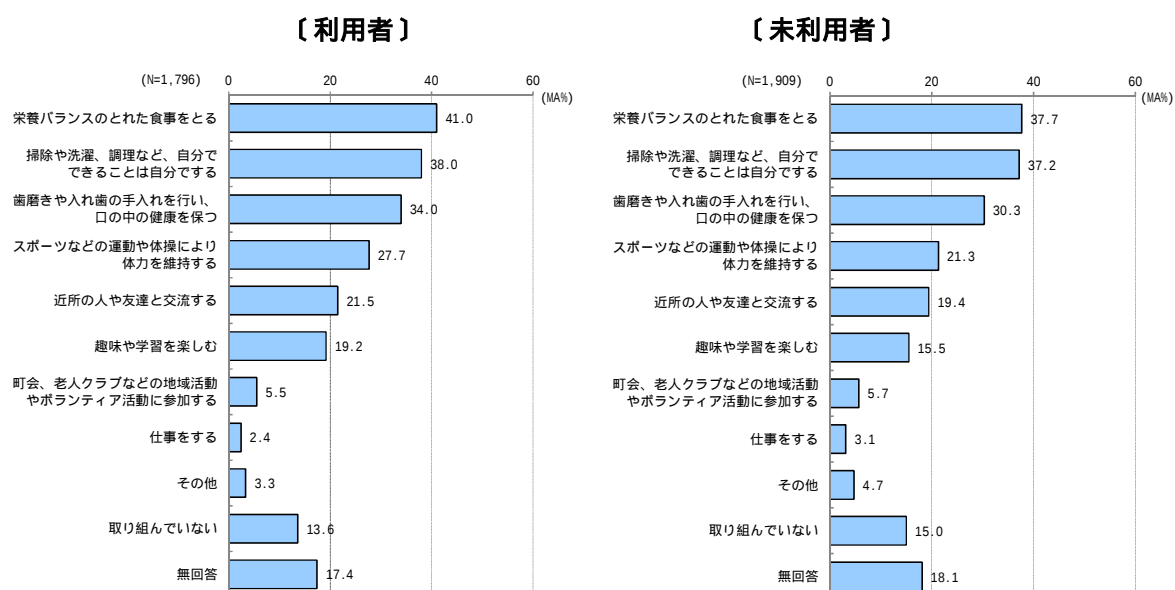
図表4-3-3 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス



介護予防の取組みについて

介護予防の取組みについては、利用者・未利用者ともに、「栄養バランスのとれた食事をとる」が最も高く、次いで「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」などとなっています。

図4-3-4 介護予防としての取組み

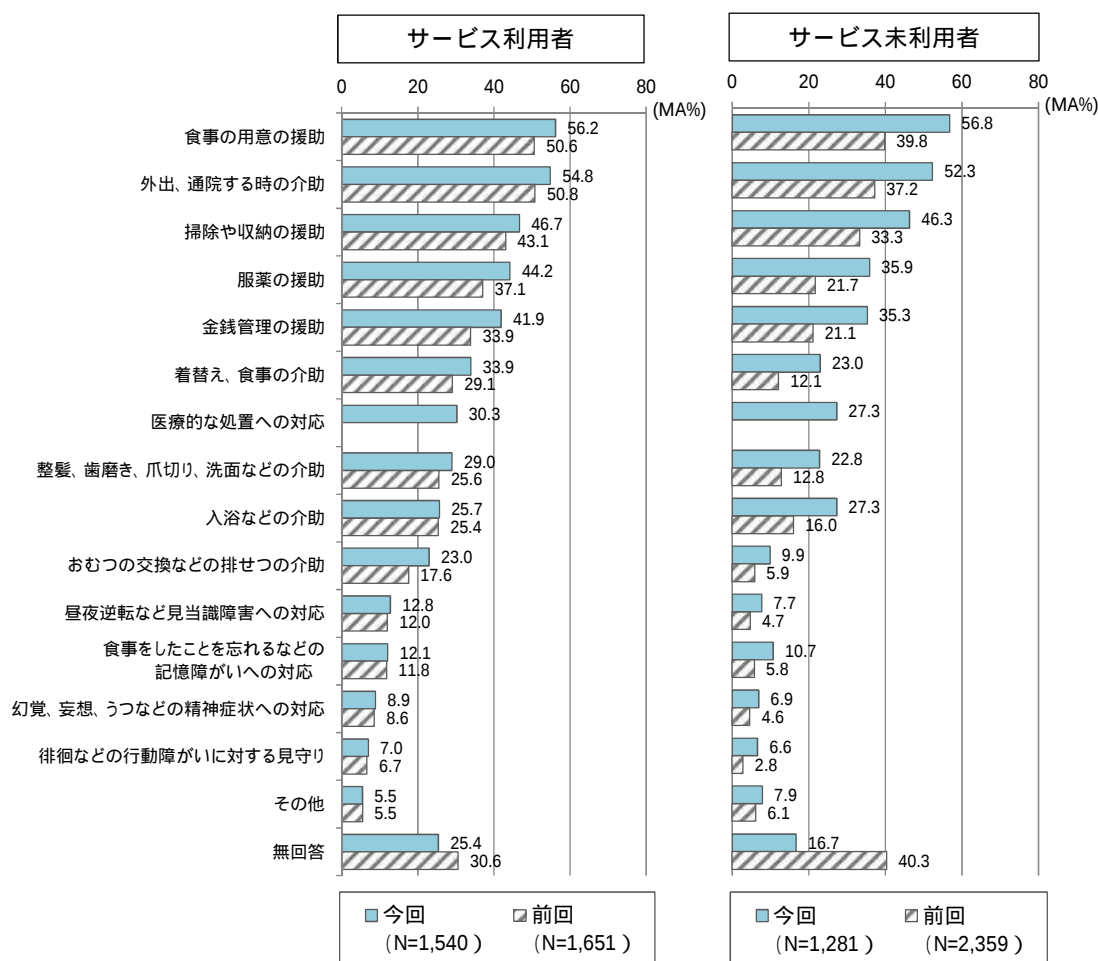


(4) 介護をしている方を対象とした調査

介護の内容について

介護をしている方にたずねた、回答者本人への介護の内容については、サービス利用者・未利用者ともに、「食事の用意の援助」が最も高く、次いで「外出、通院する時の介助」、「掃除や収納の援助」となっています。概ね全項目で、前回調査結果を上回っています。

図表4-4-1 本人への介護内容

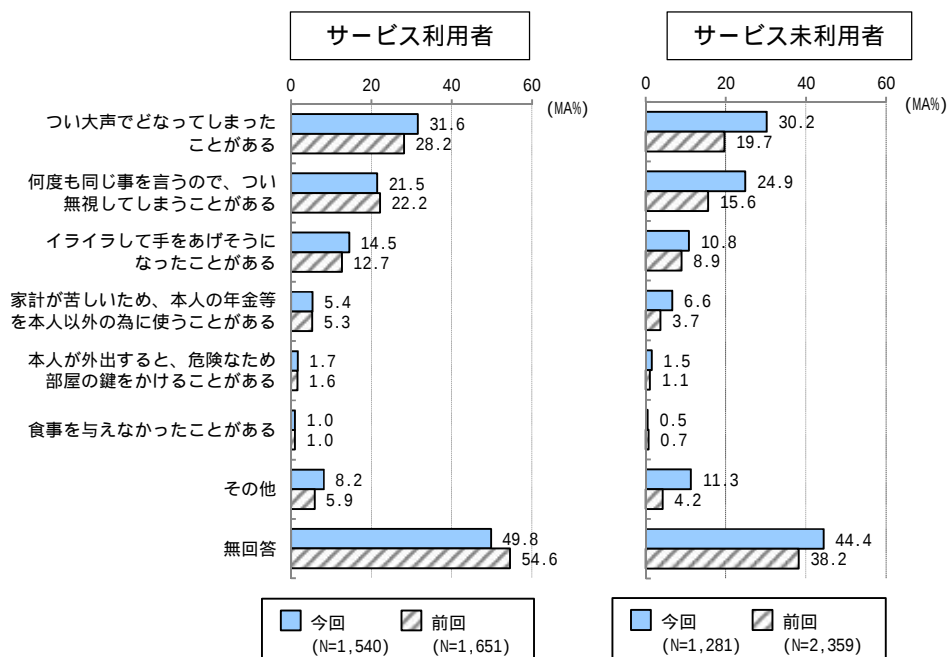


介護時の状態、困り事について

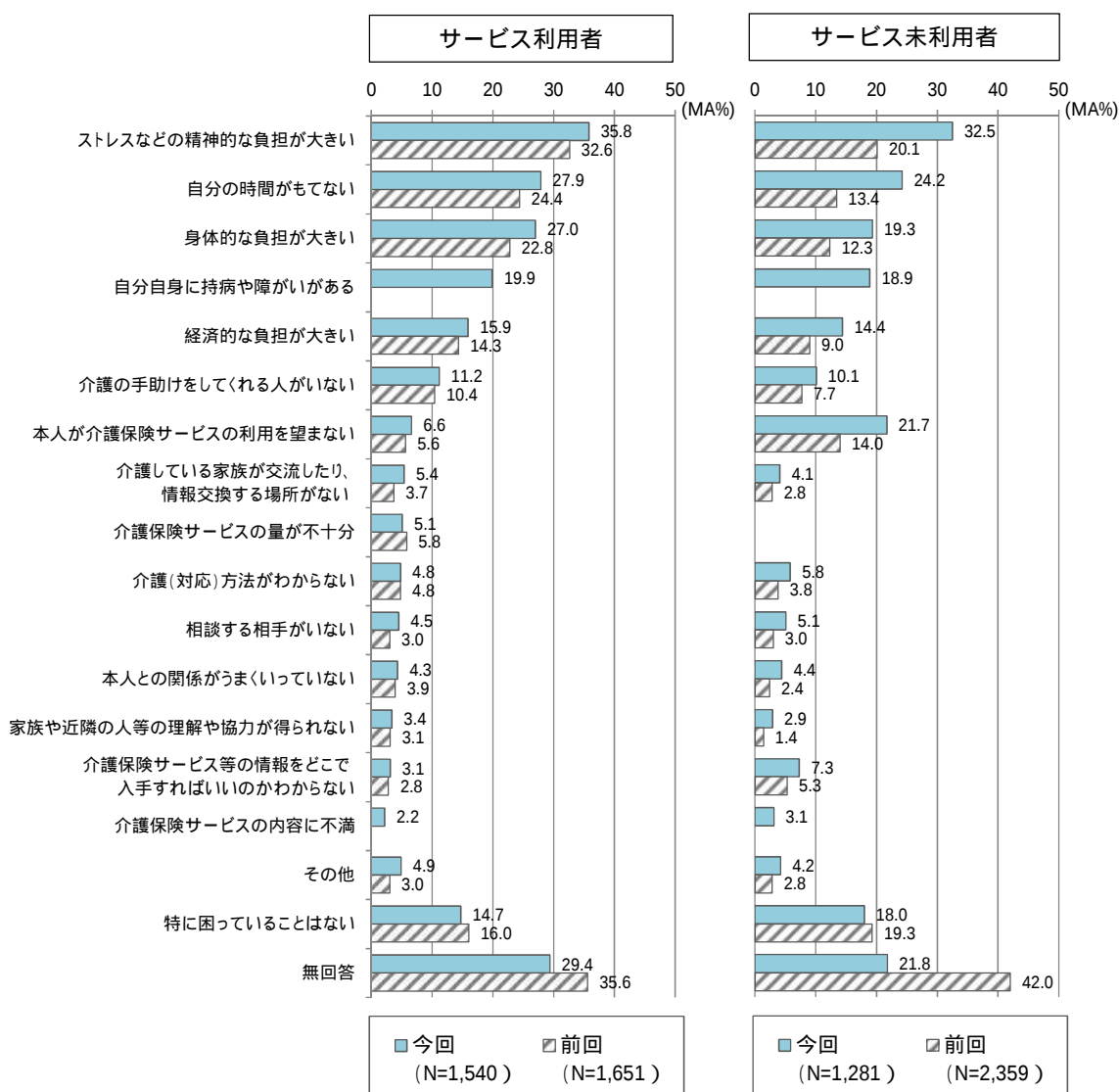
介護者の虐待の有無については、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「つい大声でどなってしまったことがある」が最も高く、前回よりも割合は高まっています。次いで「何度も同じ事を言うので、つい無視してしまうことがある」、「イライラして手をあげそうになったことがある」などとなっています。

介護を行ううえで困っていることについては、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も高く、次いで「自分の時間がもてない」となっています。続いて、サービス利用者の介護者は「身体的な負担が大きい」、サービス未利用者の介護者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」となっています。

図表 4 - 4 - 2 介護者の虐待の有無



図表 4 - 4 - 3 介護を行ううえで困っていること

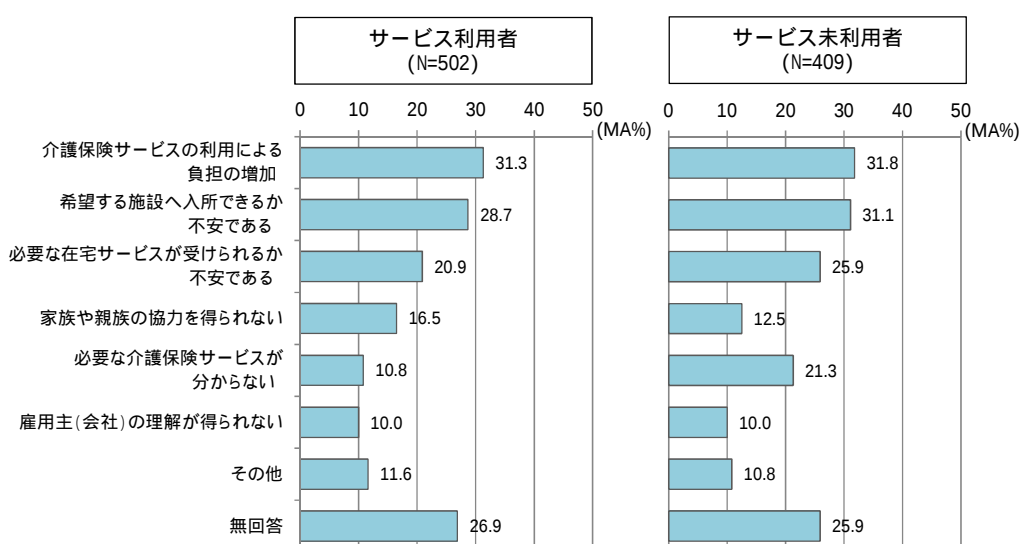


介護者の就労継続について

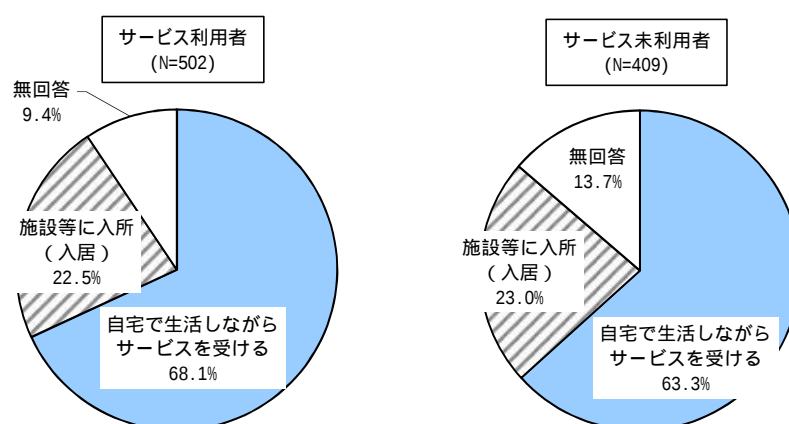
介護者が仕事を続けるにあたって不安なことについては、サービス利用者・未利用者の両介護者ともに「介護保険サービスの利用による負担の増加」が最も高く、次いで「希望する施設へ入所できるか不安である」、「必要な在宅サービスが受けられるか不安である」となっています。続いて、サービス利用者では「家族や親族の協力を得られない」、サービス未利用者では「必要な介護保険サービスが分からない」が高くなっています。

就業中もしくは本人の介護のために離職した介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービスについては、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「自宅で生活しながらサービスを受ける」が6割台、「施設等に入所（入居）」は2割強となっています。

図表4 - 4 - 4 介護者が仕事を続けるにあたって不安なこと



図表4 - 4 - 5 介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス



(5) 施設調査

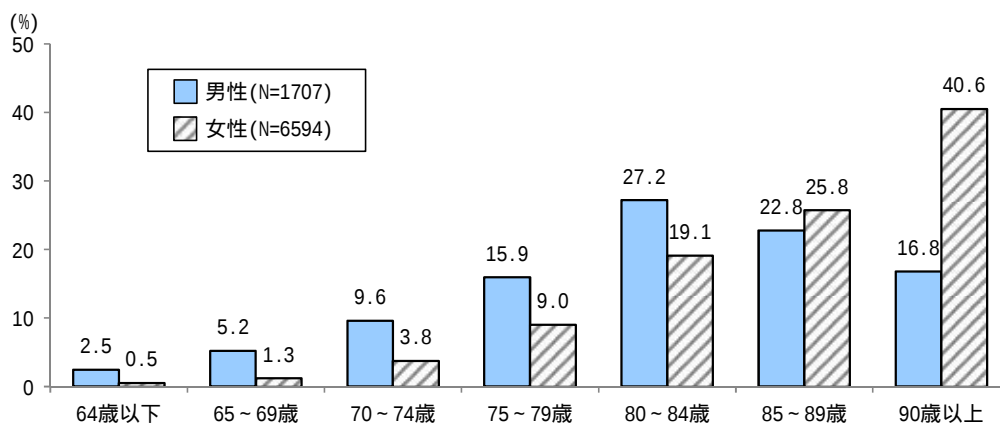
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所者の状況

介護老人福祉施設への入所者の状況を性別・年齢別にみると、90歳以上の女性で最も高い割合となっています。男性は年代が上がるにつれ割合が高くなり、80～84歳がピークで、85歳以上と年代が上がるにつれ割合は低下しています。一方で、女性は年齢が上がるにつれ、割合は高くなっています。

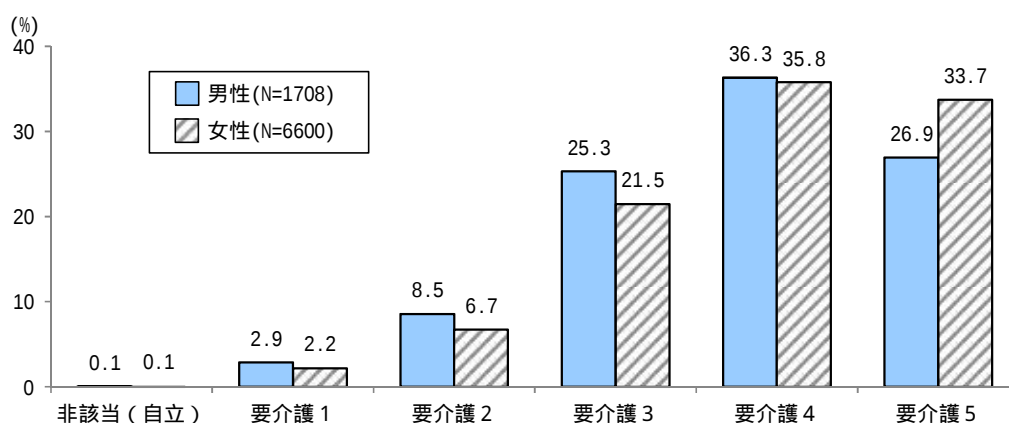
性別・要介護度別にみると、男女ともに「要介護4」、「要介護5」、「要介護3」の順に回答割合は高くなっています。「要介護5」は男性よりも女性の割合が高くなっています。

介護老人福祉施設への入所時の住所別の内訳では、「施設の所在区」が63.6%、「その他の区」が24.5%、「府内市町村」が9.2%となっています。

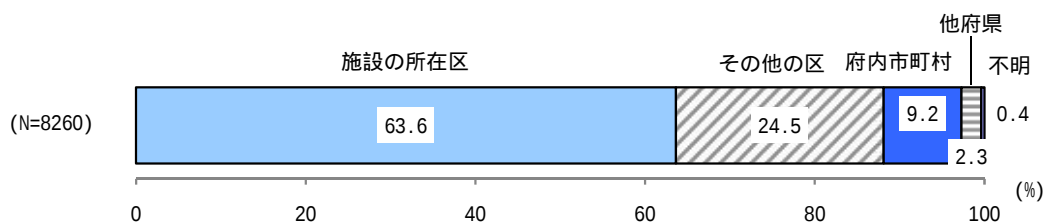
図表4-5-1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における入居者の状況 年齢別・男女別



図表4-5-2 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入居者の状況 要介護度別・男女別



図表4-5-3 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入所（入院・入居）時の住所別人数構成比

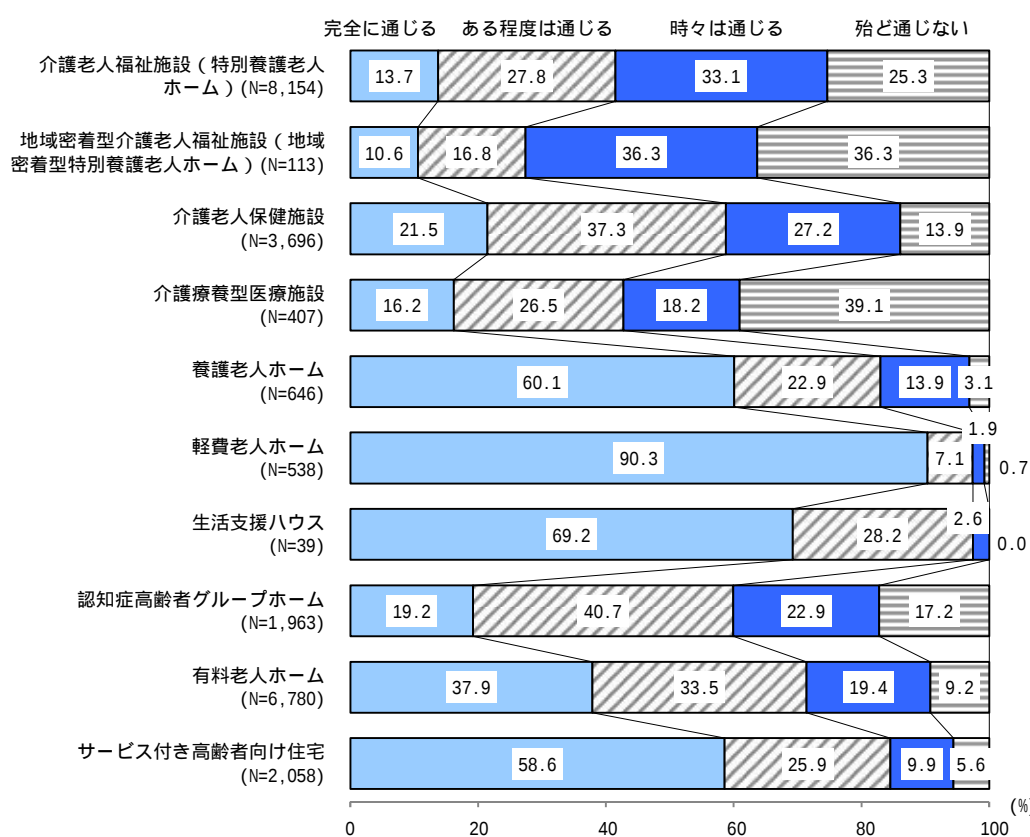


各施設入所者の意思疎通の状況

介護老人福祉施設への入所者の意思疎通について、「完全に通じる」と「ある程度通じる」、「時々通じる」を合わせた『通じる』入所者の割合は、施設別にみると、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウス、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅ではいずれも9割を超えています。「殆ど通じない」は、介護療養型医療施設で39.1%、地域密着型介護老人福祉施設（地域密着型特別養護老人ホーム）で36.3%となっています。

医療的処置が必要な方の入所が「あり」の施設は全体が86.4%で、いずれの施設も7割を超えており、前回調査と比較すると、「あり」が下回っています。

図表4 - 5 - 4 入所（入院・入居）者の意思疎通の状況（施設別）



図表4 - 5 - 5 医療的処置が必要な方の入所有無

